

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。
※シャッターボックスの取付けは、シャッターボックス取付け説明書をご覧ください。

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ▲**注意** …取付けを誤った場合には、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

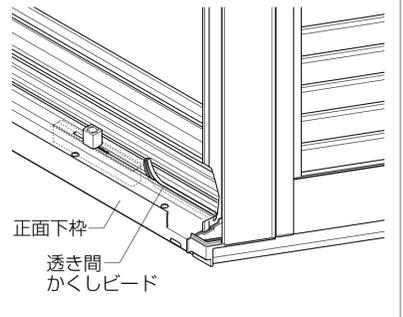
▲注意

- 組立て後の重量は最大30kg(中屋根を含めると40kg)になります。施工は、対応する人数で行ってください。
- 下記項目は、出窓の前倒れ等により障子が脱落する原因になりますのでご注意ください。
 - ・柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
 - ・間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。
 - ・下枠補強材と開口部との間に透き間のないよう固定してください。
 - ・中屋根は必ず奥まで差し込んでください。
 - ・必ず外れ止め調整ねじを上げてください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- 下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでご注意ください。
 - ・躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
 - ・屋根用シール材は絶対にはがさないでください。
 - ・中屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
 - ・外壁は44mm以下に仕上げてください。

■施工上のお願い

- 中屋根にはしごをかけたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態で行い、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠け等の原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 断熱材はぬれると製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

※施工中は、正面下枠の透き間かくしビードを外さないでください。正面下枠にゴミが入り、オペレーターアームの動きが悪くなるおそれがあります。(お施主様へ引渡しの際、取り外ししてください。)



■取付けねじ一覧表

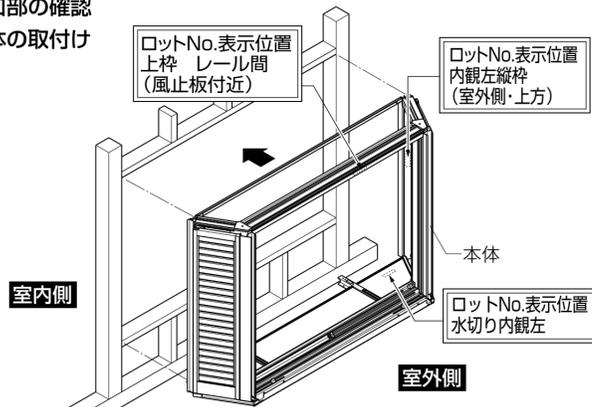
※下表の番号は本文図中の番号を示します。間違いないよう使用してください。

番号	①	②	③	④	⑤	⑥
名称	φ4×30ナベタッピンねじ	φ4.1×63丸木ねじ	φ2.4×38スクルー釘	φ4×30ナベタッピンねじ(座金付き)	φ3.5×20皿木ねじ	φ3.5×20皿木ねじ
姿図						
使用箇所	縦枠(室外側)ー躯体 水切りー躯体 補強ブラケットー躯体	補強ブラケットー躯体	中屋根ー躯体	正面上枠ー中屋根	天板見切り縁ー中屋根	天板見切り縁ー額縁 縦枠ー額縁 側面下枠ーテーブル板
袋表示	取付け用1			取付け用2		取付け用3

■取付け順序

1 開口部の確認

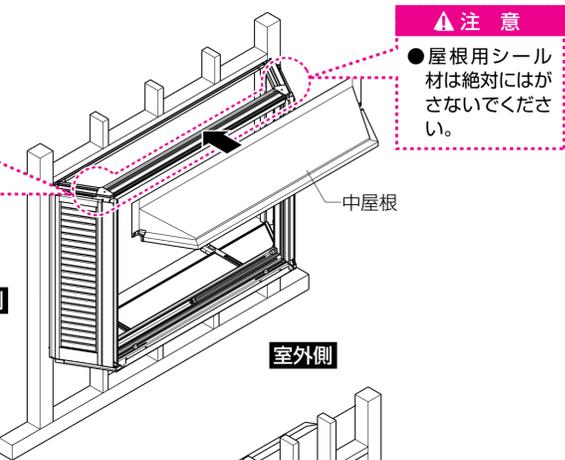
2 本体の取付け



3 中屋根の取付け

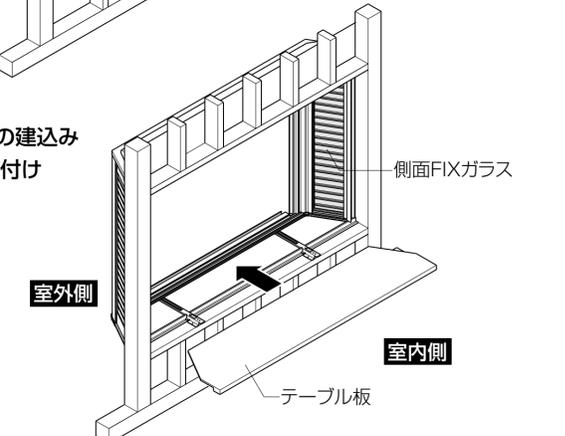
▲注意

- 屋根用シール材は絶対にはがさないでください。



4 側面FIXガラスの建込み

5 テーブル板の取付け



6 造作材(仕上げ材)と縦枠・天板見切り縁の固定

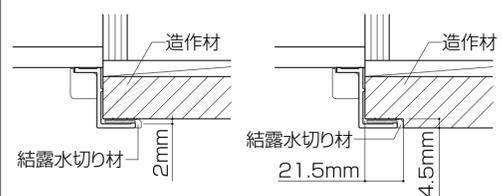
7 障子の建込み

8 建付け調整

■結露水切り材(別売り)の取付け(使用する場合のみ)

※造作材(仕上げ材)は、結露水切り材の厚みを考慮した寸法にしてください。

- 加工できない場合 (ウッディーライン・化粧合板等)
- 加工できる場合 ※出窓枠と造作材を同一面に納める場合は、下図の寸法とします。



■取付け詳細

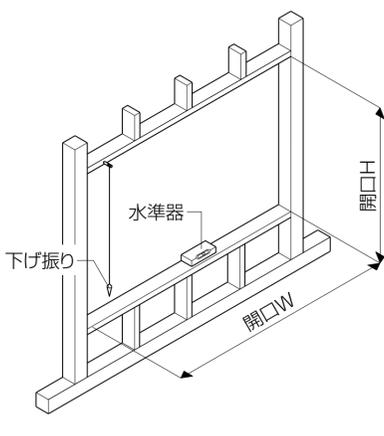
※図中の番号は、取付け部品一覧表の番号を示します。間違いないよう使用してください。

1 開口部の確認

- 水平・垂直を確認し、開口部を作成します。

▲注意

- 必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。



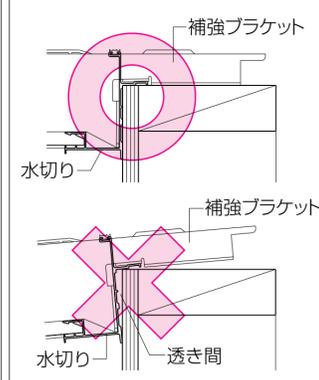
2 3 本体・中屋根の取付け

- 1 本体を開口部に差し込み、補強ブラケット・水切り・縦枠(室外側)の順で躯体を固定します。
- 2 中屋根を本体に差し込み、躯体に固定します。
- 3 上枠と中屋根を固定します。
- 4 天板見切り縁と中屋根を固定します。

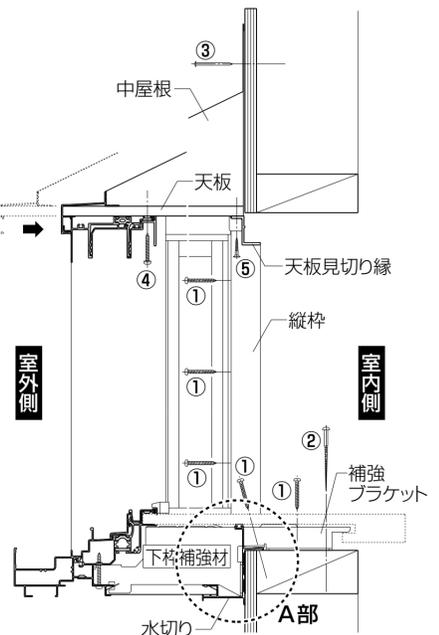
■A部詳細図

▲注意

- 透き間なく必ず押し込んでからねじ止めしてください。



▲**注意**
●中屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。

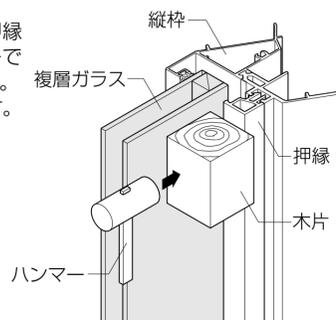


4 側面FIXガラスの建込み

- 1 室内側からガラスを入れます。
- 2 縦押縁・上押縁の順で押縁に木片を当て、ハンマーで端部よりたたき込みます。
- 3 後付けビードをまわします。

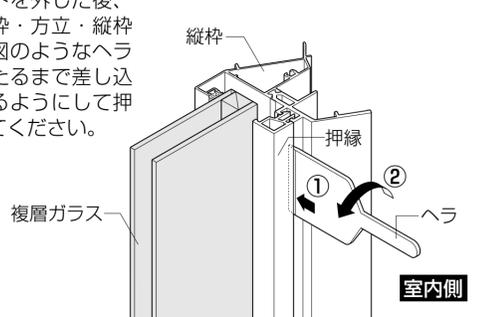
■お願い

※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



■FIX部ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁と上枠・縦枠の間に下図のようなヘラを突き当たるまで差し込み、ねじめるようにして押縁を外してください。

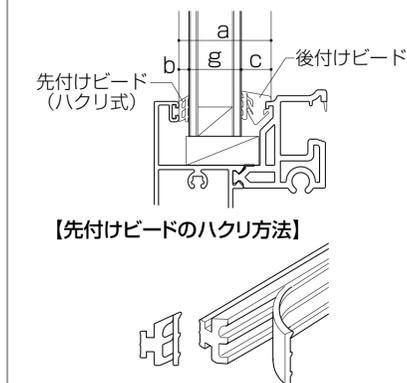


■FIX部ガラスビードの使用区分

●PG(複層ガラス) / a=30

ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売り)
18	3-12-3	4	8
19	3-12-4	4	7
20	3-12-5 4-12-4	4	6
21	4-12-5	3(ハクリ)	6
22	5-12-6.8 3-12-5	4	4
23	4-12-6.8	4	3
24	5-12-6.8	3(ハクリ)	3

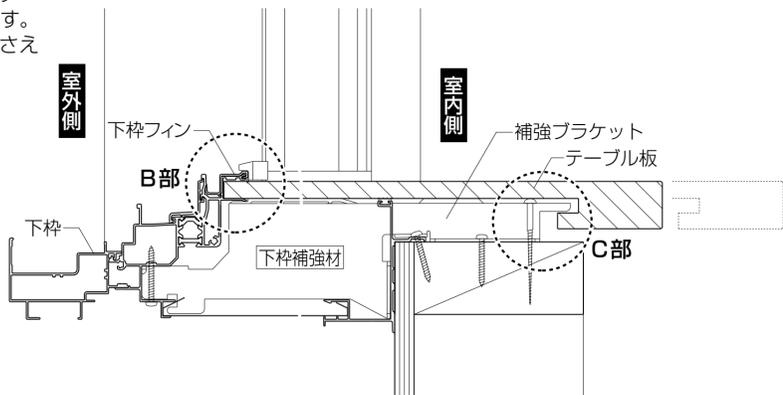
※後付けビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上押縁・縦押縁・下枠の4方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。



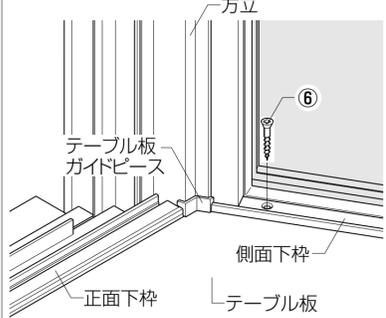
■取付け詳細

5 テーブル板の取付け

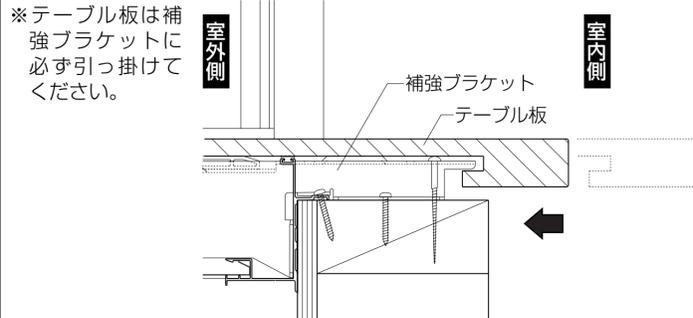
- 下枠フィン・補強ブラケットにテーブル板を差し込んでねじ止めします。
- ※テーブル板は、両端を上から押さえながら差し込んでください。



■B部詳細図



■C部詳細図

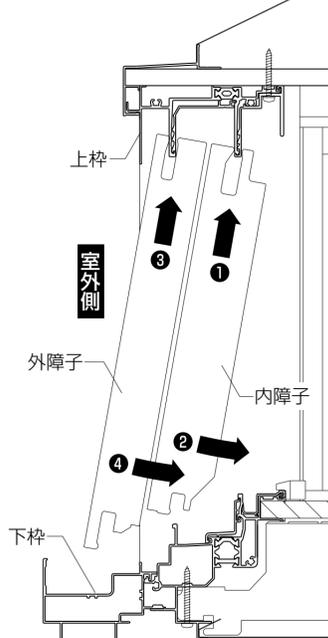


6 造作材(仕上げ材)と縦枠・天板見切り縁の固定

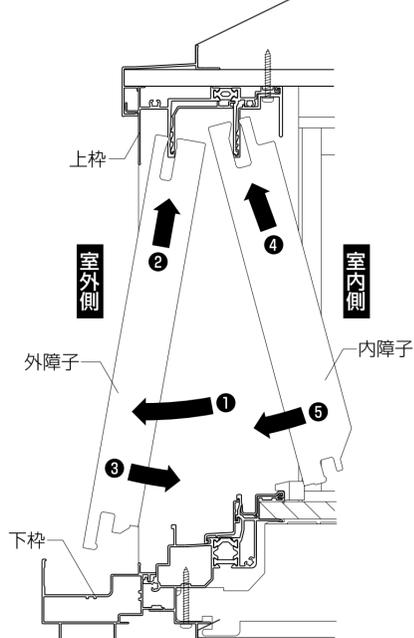
7 障子の建込み

- 下図の手順で障子を入れます。
- ※枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

【室外側からの建込み】



【室内側からの建込み】

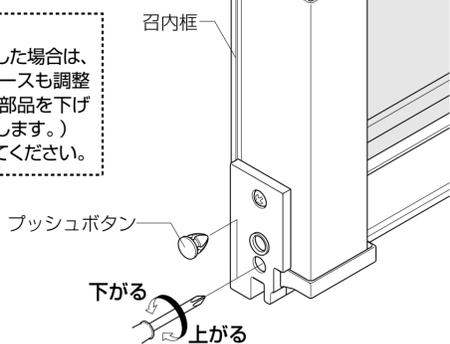


8 建付け調整

■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

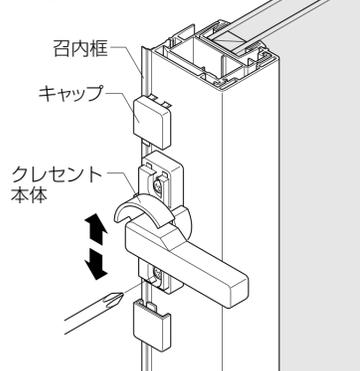
- お願い
- ※召外下部気密ピースも調整してください。(部品を下げて透き間をなくします。)
- ※ねじは軽く締めてください。



■クレセント調整

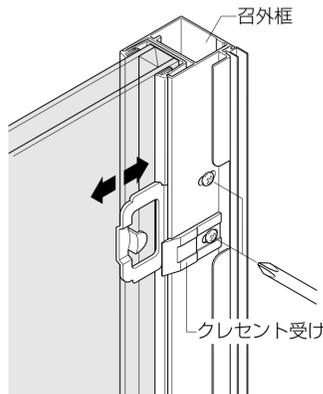
【上下方向の調整】

- (クレセント本体)
- ①マイナスドライバーでキャップを外します。
- ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



【左右方向の調整】

- (クレセント受け)
- プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

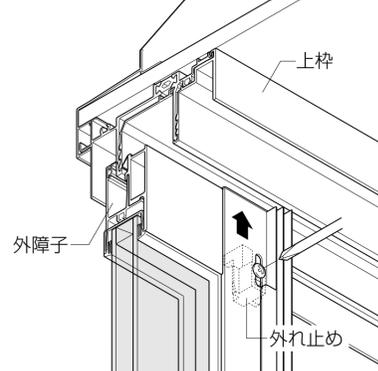


■外れ止め調整

- プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

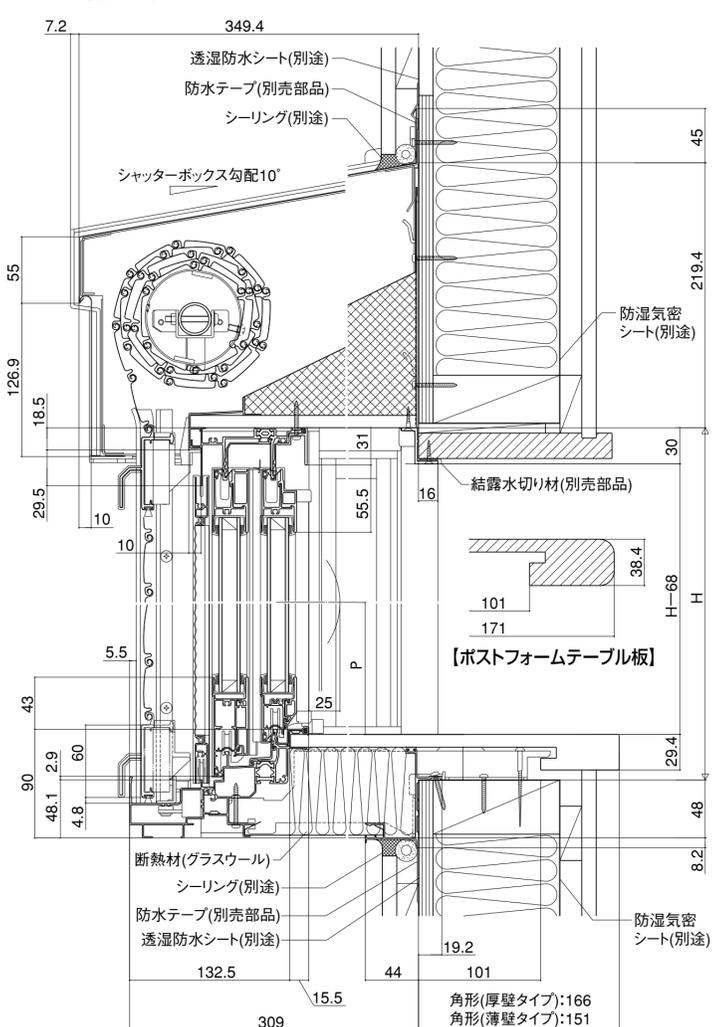
▲注意

- 必ず外れ止め調整ねじを上げてください。



■参考納まり図

●縦断面図(正面部)



●横断面図

